

# 卓 話



社会福祉法人浦和福祉会  
さいたま市児童養護施設カルテット  
施設長 福田 孝 様

「7/28(水)の寄贈式では、自転車10台、いろいろな色のものを保険も付けてご用意いただき、ありがとうございます。子供たちは喜んでおります。大事にするよう話しました。3年にわたって、誠にありがとうございます。」



昨年は施設についてお話ししましたので、今回はどのように入所してきて、どのように暮らしているのかをお話します。

## ▼経過

親と一緒に暮らせない子は、児童相談所から通告され、一時保護所に入ります。

一時保護所では、担当福祉司と心理担当職員、および一時保護所の生活担当職員がつかます。健康診断、心理判定ほかさまざまな検査観察などを受けます。

## 様々な入所

- ▶ 祖母、母親、姉妹の4人暮らしであったが、母親が3人に暴力行為をし、傷害容疑にて逮捕、再発防止から姉妹は施設入所。その後母親は妹を出産。父母は寛解し刑で逮捕。出所後面会するも、連絡が途絶え、再交流、母親の都合で面会できない事がしばしばある。子ども達から交流を拒む場面もある。
- ▶ 中学2年男子、離婚母子家庭で母親・異父姉に暴力、金銭持出、不登校もあり保護希望が出される。
- ▶ 父親からの身体的虐待があり、叱責がひどいため、家にいるのが嫌になり、家を出して警察に相談。そのまま身柄付き保護となる。一度は家庭引取りとなったが、数日後同じことの繰り返しで施設入所。
- ▶ 父母離婚後、母親から兄妹の養育の限界の訴えがあり、父親がその後養育していたが、逮捕され施設入所となる。その後母親は別の男性と結婚し、妹を出産する。県外から面会に来る。
- ▶ 父母から姉弟の事で、姉に身体的・心理的・ネグレクトがあり、母親も精神的に不安定で家庭で養育が困難なため施設入所。
- ▶ 近隣住民から児童虐待通報ダイヤルにて連絡。夜に一人でコンビニに買い物に来たり、朝の9時から公園にいて、いつも同じ洋服を着ているから心配していると通報あり。母親は夜の仕事をしていた。姉が面会を希望していた。母親が昼間の仕事に就くまでの間、施設入所となるも未だに引取り出来ずにいる。
- ▶ 母親の精神疾患から養育困難の訴えで兄弟で施設入所。
- ▶ 警察署より身柄付き通告。本児の行動に父親が怒怒し、身体的虐待、全裸で家を出て行くように言われ、実行し、近隣から警察に連絡され、施設入所。現在精神科受診。

担当のケースワーカーが入所する場所を検討します。

## 児童養護施設での生活開始

### 児童の状況

- ▶ 一時保護所での生活を終えて、仲の良い友達とのお別れをして、施設に行くが、どんな施設でどんな人が居て、どんな職員が居るのか、不安がよぎる。
- ▶ 初めての職員が居ると緊張する。
- ▶ 不登校や一時保護期間が長くて学校に行けてなかった為、学校に行くには不安がある。学力の遅れが目立つ。
- ▶ 自分の居場所がない。
- ▶ 生活が乱れていたため、施設で何をしたらいいのか分からない。
- ▶ 施設の部屋全てが、整理整頓されている。(掃除のきれいで居ない部屋が当たり前の子ども達)

### 職員の対応

- ▶ 一時保護所に児童と事前の面会をする。
- ▶ 入所時に保護所で会った職員が対応できるように配慮する事で、子どもの気持ちを和らげる。
- ▶ 子どもへの不安を取り除くように、優しく、笑顔で対応。
- ▶ 育った環境、保護された経緯を知り、尚且つ医療心理判定状況を踏まえた上で、受け入れ準備と、他の児童に対し、事前に新しい児童が来る旨の話をしておく。
- ▶ 学校に子どもが適応できるように、事前相談に行く。又は担任になる教師に来てもらう。
- ▶ 居場所作りの為、居住環境を整える。
- ▶ 施設の子とも達が居て、話しかけて来るための、子どもの間に入り、繋げる。

## 児童養護施設での生活開始

### 児童の状況

- ▶ 居室作り
- ▶ 学校への不安(学校の新しい友人、クラブ活動への入部)
- ▶ 食事(昔手なものがある場合、「嫌い」と言えず飲み込むまでの間ほ口の中にある状態)
- ▶ 入浴するまでに、時間がかかり、おもちゃで遊び始めると、終わるまで動かない。
- ▶ 就寝時間が早く、家では遅くまで起きていて、なかなか寝れない。家での様々な嫌な事や、お母さんは何をしているのか?等様々な事を思い出してしまう。

### 職員の対応

- ▶ 子ども達のこだわりを残しながら、一緒に作る。(居心地の良い空間となるように)
- ▶ 学力不振の子が多い中、授業に取り組みできるように補助するために、学習指導に力を入れる。
- ▶ 一口の量をよそい、食べられたと言う連絡や、大切にしておく、自分の口で昔手と言えようように、テレビを見始めた時や、遊び始めた時、時間を伝えておく。自分で時間を設定させる事も重要。
- ▶ 子ども達の健康を取り戻すために、規則正しい生活リズムを作りがちになる。朝の目覚めの状態は、安心して眠れたか一つのプロモーターである。子どものサインを見逃さないように、心地よい目覚めの安心感につなげて行く。

## 児童養護施設での生活開始

### 児童の状況

- ▶ 自立に向けての、親のイメージの回復
- ▶ 「なぜ児童養護施設で生活することになったのか」「自分はどのように育ってきたのか」「養護とは」などの疑問から「怒り」や「逸脱行為」へと発展していく。

### 職員の対応

- ▶ 親を心の中でどのように受け止めているかは、個人の心の成長に大きな影響を与える為、どれだけの子ども達の立場で考えようとするかが、子どもの受け入れの第1歩である。子ども、親双方の思いを、互いだけ互いに理解しあえるように導くが、子どもは併走者になれるが、子どもの安定・安心した精神的成長につながる。
- ▶ 逸脱行為は職員にとって苦しい時期であり、様々な逸脱行為に、頭を悩ませる。
- ▶ 子どもへの気持ちを職員と一緒に振り返り、事実を分かち合いながら、親のイメージを回復する。親との関係を理解する時期でもある。
- ▶ 施設では「生い立ちの整理」と呼んでいる。

原因としては、心理的虐待が一番多いといわれています。

## 子どもからのメッセージ(施設とは)

- ▶ 1 施設とは全員にあたるお母さんが居ない。
- ▶ 2 施設とは全員にあたるお父さんが居ない。
- ▶ 3 施設とは親身になってくれる先生が居ない。
- ▶ 4 施設とは尊敬できる人が居ない。
- ▶ 5 施設とは相談できる先生が居ない。
- ▶ 6 施設とはリラックスできる雰囲気が少ない。
- ▶ 7 施設とは全員にあたる兄が居ない。
- ▶ 8 施設とは全員にあたる姉が居ない。
- ▶ 9 施設とはなんだろう・・・けれど施設には友が居る。分かり合える人がいる。より優しく、より優しくしてくれる先生が居る。かわい子子どもが居る。心配をかけたくない先生や人がいる。だから俺はいつでも帰ってこれる。けれど見返すまでは帰って来たくない。

職員はさまざまな勉強をしています。この中にいるうちは、幸せな生活を送ってもらいたいと願っています。

## 埼玉県内の児童相談所における虐待相談受付状況

- ▶ 虐待相談受付件数
  - ・令和3年4～5月2.383件
- ▶ 主な虐待者
  - ・実母4.4.9%・実父4.1.9%
  - ・実父以外の父親4.8%
  - ・実母以外の母親0.8%
- ▶ 虐待相談の経路
  - ・警察等6.0.8%・近隣、知人1.6.4%
  - ・家族、親戚7.7%・福祉事務所3.7%
  - ・学校等4.2%・医療機関1.2%
  - ・児童本人0.5%・児童施設0.3%
  - ・その他5.2%
- ▶ 被害児の年齢別相談件数2383件
  - ▶ 3歳未満474件19.9%
  - ・心理的361件、ネグレクト62件、身体的151件
  - ▶ 学齢未満496件20.8%
  - ・心理的347件、ネグレクト62件、身体的87件
  - ▶ 小学生794件33.3%
  - ・心理的505件、身体的180件、ネグレクト99件、性的11件
  - ▶ 中学生339件14.2%
  - ・心理的183件、身体的115件、ネグレクト39件、性的6件
  - ▶ 高校生以上280件11.8%
  - ・心理的148件、身体的85件、ネグレクト89件、性的8件